

なでしこリーグを初め、女子の試合を観戦していると、

ごく当たり前に女子審判員が担当されています。

では、高校生の試合を高校生の審判員が担当しているのでしょうか。

答えは「NO」です。

なぜなら審判には「経験」が必要だからではないのでしょうか。

先のワールドカップでも活躍している選手は20代前半でしたが、

審判員は40歳前後でした。

現在、大阪サッカー協会の強化育成部では、

その「経験」を積んでもらうためのユース審判員向けの事業をいくつか行っています。

6月のインターハイ予選を利用した観戦研修、その他各種大会への割り当てと指導、

また練習試合等を利用した個別指導も行っています。

高校生からサッカーを始めた人がワールドカップに出場できる可能性は皆無ですが、

高校生から審判を始めれば、ワールドカップレフェリーも夢ではありません。